

2005年4月22日

社会貢献支援財団 「平成17年度 社会貢献者表彰」の 候補者推薦を受付・・・締切迫る

～ 受賞者には「日本財団賞」(副賞 100 万円)を贈呈～

社会貢献支援財団(会長・猪熊葉子)は、「平成17年度社会貢献者表彰」の候補者推薦を受け付けている。

同財団は日本財団の支援を受け、社会の各分野で顕著な功績を上げられながら、社会的に報われる機会の少ない方を対象に、昭和46年以来、毎年秋に社会貢献者表彰を行っている。平成16年度は寄せられた222件の推薦から26件を表彰した。

平成17年度の表彰は第一部門<緊急時の功績>、第二部門<多年にわたる功労>、第三部門<特定分野の功績>に分れ、受賞者には日本財団賞として100万円(「21世紀若者賞」のみ20万円)が、各件ごとに贈られる。

推薦にあたり、候補者には、年齢・職業・性別・居住地域等の制限はない。推薦は推薦要項を同財団から取り寄せ、所定の推薦書を郵送またはFAXにて社会貢献支援財団まで送るか、財団のホームページから送信する。締切は5月16日(必着)となっている。

表彰の発表は9月、表彰式典は11月をそれぞれ予定している。

なお、同財団では平成16年度受賞者の功績をとりまとめた「社会貢献者の記録 平成16年度」を発行した。同書は各都道府県立図書館等に贈られる。

< 表彰選考委員 (予定) >

- 曾野 綾子 (作家、日本財団 会長)
- 猪熊 葉子 (聖心女子大学 名誉教授、社会貢献支援財団 会長)
- 犬丸 一郎 ((社福)トット基金 理事)
- 金平 輝子 (元・東京都 副知事)
- 日下 公人 (東京財団 会長、社会貢献支援財団 評議員)
- 藤原 正彦 (お茶の水女子大学 教授、社会貢献支援財団 評議員)

<「平成17年度 社会貢献者表彰」の概要>

内 訳	副賞
・第一部門: 緊急時の功績/	日本財団賞(副賞 100万円)
・第二部門: 多年にわたる功労/	日本財団賞(副賞 100万円)
・第三部門: 特定分野の功績/	日本財団賞/海の貢献賞(副賞 100万円)
	日本財団賞/国際協力賞(副賞 100万円)
	日本財団賞/ハッピーファミリー賞(副賞 100万円)
	日本財団賞/21世紀若者賞(副賞 20万円)

< 功績区分の内容 >

1. 第一部門< 緊急時の功績 > 日本財団賞

- ・海難・水難・交通事故・遭難等に際し、身命の危険を冒して救助・救援に尽くされた功績
- ・犯罪等の発生に際し、身命の危険を冒してその解決に協力された功績

2. 第二部門< 多年にわたる功労 > 日本財団賞

- ・精神的・肉体的に著しく労苦の多い活動や業務に多年にわたり従事し、他に尽くされた功績
- ・著しく危険性の高い活動や業務に多年にわたり従事し、他に尽くされた功績
- ・不潔、非衛生等、劣悪な状況・環境に耐え、多年にわたり他に尽くされた功績
- ・その他、困難な状況の中で多年にわたり努力し、社会と人間の安寧・幸福のために尽くされた功績

3. 第三部門< 特定分野の功績 >

海の貢献賞:

- ・海の安全確保、環境保護、汚染防止等に尽くされた功績
- ・海に関わる産業分野(例:造船業・造船関連工業、海運業、港湾業など)において
- ・長年の経験を持ち、技能が傑出している方、その分野を大きく前進させる発明・考案・改良などをなされた方の功績
- ・海に関わる文化の発展・保存・伝承等に貢献された功績

国際協力賞:

- ・日本(人)が関係する事柄で、社会と人々の安寧と幸福のために尽くされた外国籍の方の功績

ハッピーファミリー賞:

- ・多くの子どもを育て苦労を重ねながらも明るく生きてこられた方々や、親や家族の尊さを自覚してそのために尽くす若者の功績

21世紀若者賞:

- ・自ら積極的に社会や他人のために尽くしている若者の功績

< 報道関係のお問い合わせ先 >

社会貢献支援財団
<http://www.fesco.or.jp/>

TEL 03(3502)0910
FAX 03(3502)7190
E-MAIL: fesco@mve.biglobe.ne.jp